

戸田市 成年後見センター

だれもが住み慣れた地域で、
安心して暮らしていくために



成年後見制度をすすめられたけど、
利用したほうがいいのかな？

銀行で本人以外はお金を
払い戻しすることは出来ない
と言われた。



知らない人が出入りしているけど、
消費者詐欺？

戸田市成年後見センターは認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由で、判断能力が不十分な方が、住み慣れた地域で安心して生活できるように、財産や暮らしの中の権利を守り、生活をサポートするための相談窓口です。

こんなときに

成年後見制度が利用できます

例①

認知症の父親名義の銀行預金を入
院費用に充てたいが、窓口で「本人
の同意がないと引き出しはできな
い」と言われた。

本人の
同意



成年後見制度を利用すると、後見
人等※1 がお父さんに代わって預金を
引き出すことができます。



代理



例②

親が亡くなり、知的障がいのある姉
が一人暮らしになってしまった。今
後の生活が心配。



後見人等が預貯金の管理や福祉
サービスの契約などを行い、お姉さ
んが地域で暮らしていけるようにサ
ポートしていきます。



例③

認知症の母親が、訪問販売で必要の
ない商品を次々と買ってしまふ。



後見人等が判断して、お母さんに不
利益な契約を取り消すことができ
ます。



例④

自分が認知症になった時に備えて、
財産の管理などをしてくれる人を今
のうちに決めておきたい。



ご自身が元気なうちに任意後見人
になってほしい人と契約を結ぶこと
によって、将来の不安を解消できま
す。



※1 後見人・保佐人・補助人を以下「後見人等」とする。

成年後見制度って？

認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由から判断能力が十分でない人の財産や権利を守るための制度です。

家庭裁判所に選任された「成年後見人」や「保佐人」、「補助人」が、本人に代わって財産の管理や日常生活上の手続きを行い、不利益を受けないようにします。



後見人の役割

財産の適切な管理

預貯金や不動産、年金、日常生活費などを管理します。通帳や証書の保管、賃貸不動産の管理なども行います。

日常生活の支援

介護・福祉サービス利用の手続き、施設入所契約など本人の生活を支援します。入院時には費用の支払いもします。

後見制度の種類

法定後見制度

判断能力が不十分な人が利用する制度で、能力程度に応じて3つに区分されています。

— 補助 —

判断能力が不十分な本人のために、申立てにより家庭裁判所が定める行為を「補助人」が行います。



— 保佐 —

判断能力が著しく不十分な本人のために、重要な法律行為の同意・取消しのほか、申立てにより家庭裁判所が定める行為を「保佐人」が行います。

— 成年後見 —

判断能力がほとんどない本人のために、原則としてすべての法律行為を「成年後見人」が行います。



任意後見制度

判断能力が十分にあるうちに、支援者や支援内容を本人が決めておく制度です。本人の判断能力が不十分になり、家庭裁判所が任意後見監督人を選任した時点で後見活動が開始されます。

— 任意後見人 —

本人の判断能力が不十分になってから、財産の管理など本人との契約で定めたことを行います。本人に代わって契約などの法律行為を行えますが、本人が行った法律行為を取り消す権限はありません。



利用の流れ

法定後見制度

～成年後見申立の場合～

① 申立て準備

- ・ 本人の後見人候補者を検討します。

－必要書類－

- ・ 診断書
- ・ 戸籍謄本
- ・ 収入印紙等



② 申立て

- ・ 本人の住民票上の住所地を管轄する家庭裁判所に申立てます。

申立てに必要な書類と費用

- | | |
|------------------|-----------|
| ① 申立書 | ⑤ 申立手数料 |
| ② 本人の戸籍謄本・住民票 | ⑥ 登記嘱託手数料 |
| ③ 登記されていないことの証明書 | ⑦ 郵便切手 |
| ④ 医師の診断書 | ⑧ 鑑定料 |

③ 審理・審判

- ・ 申立書類をもとに、家庭裁判所が必要に応じて本人、申立人、後見人候補者と面談します。
- ・ 家庭裁判所が後見人と支援内容を決定します。
- ・ 審判書が申立人、本人、後見人に通知されます。



④ 後見開始

- ・ 後見人が本人への支援を開始します。
- ・ 後見人は家庭裁判所へ事務報告、収入状況報告書等を提出します。

⑤ 終了

- ・ 本人が亡くなったとき。
- ・ 本人の判断能力が回復し、審判が取り消された場合。

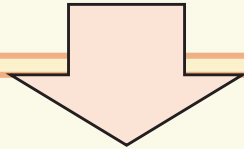
◎後見人を選任するのは家庭裁判所です

本人にどのような支援が必要かを考慮して、親族や専門家等から適任者を選任します。また後見人の報酬も家庭裁判所が決定します。

任意後見制度

① 契約の準備

- ・判断能力の低下に備えて、任意後見をお願いする人(任意後見受任者)を本人が決めます。
- ・任意後見受任者と話し合い、依頼しておきたい支援内容や報酬を決定します。



② 任意後見契約

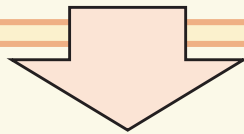
- ・本人と任意後見受任者が公証人が作成する公正証書で契約を交わします。

必要書類

- ①本人の戸籍謄本、住民票、印鑑登録証明書
- ②任意後見受任者の住民票、印鑑登録証明書
- ③診断書、財産目録等

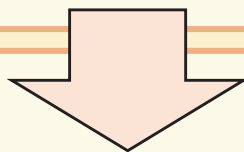
費用

- ①任意後見契約公正証書作成の基本手数料
- ②登記嘱託手数料
- ③登記所納付の印紙代
- ④その他、証書代や、登記嘱託郵送用切手代



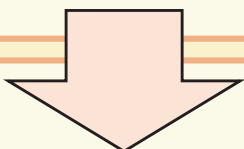
③ 申立て

- ・本人の判断能力が低下したときに家庭裁判所に任意後見監督人の選任を申立てます。(申立人は本人や配偶者、四親等内の親族、任意後見受任者)



④ 後見開始

- ・契約内容に基づいて、任意後見人が本人への支援を開始します。
- ・任意後見監督人と家庭裁判所が、任意後見人の職務を監督します。



⑤ 終了

- ・本人、または任意後見人が亡くなったとき。
- ・正当な事由がある場合に、家庭裁判所の許可を得て解除したとき。

◎任意後見監督人とは？

任意後見人が正しく職務を行っているかを確認するのが、任意後見監督人です。任意後見監督人は家庭裁判所が選任し、本人の資産に応じた報酬が発生します。

成年後見センターの 主な業務内容

戸田市成年後見センターでは、市民の皆さまが安心して制度を利用できるよう、以下の業務を担っています。

◎ 広報・普及啓発に関する業務

講演会や研修会、地域での講座を開催するなど、成年後見制度の普及啓発活動を行います。



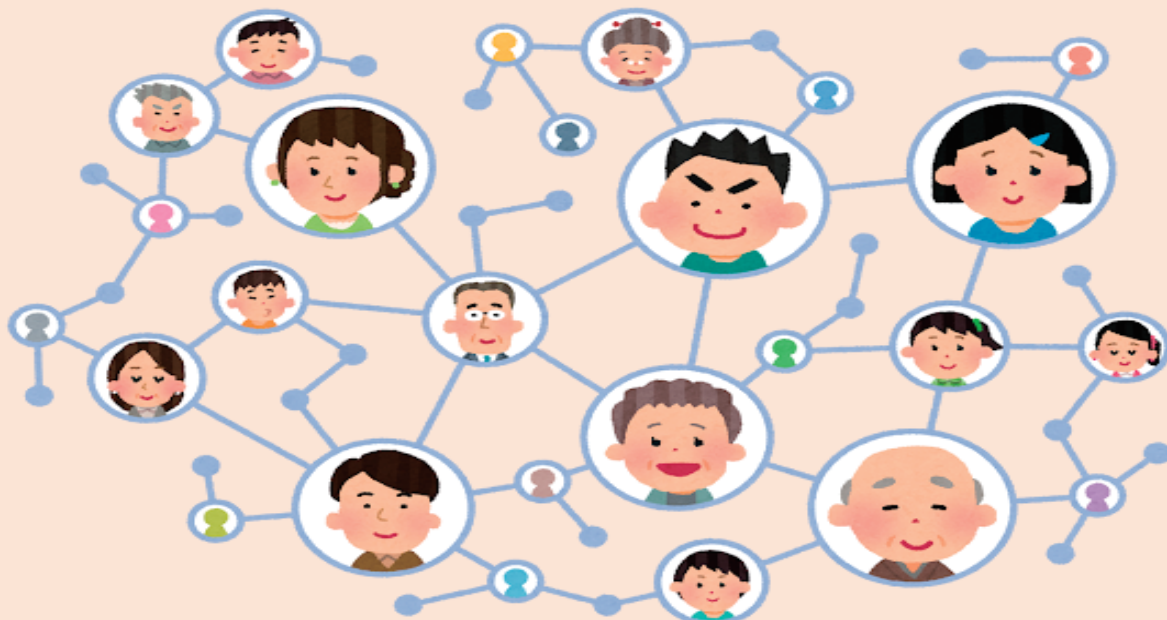
◎ 成年後見制度に関する相談支援業務

相談を受け、制度の利用が必要な場合は手続きや申立てについて支援をします。制度の利用促進に向けて、関係機関との調整や担い手の育成を行います。



◎ 地域連携ネットワークの整備に関する業務

法律・介護・福祉関係機関や支援者による協議会を設けるなど、成年後見制度利用の促進に向けて、地域の関係機関との連携強化を図ります。



その他の事業

法人後見事業

戸田市社会福祉協議会が成年後見人に就任し、後見事務を行う事業です。成年後見人等に就任すると、ご本人に代わって契約などを行ったり、ご本人が行った不利益な契約を取り消したりすることができるようになります。

<法人後見対象者>

戸田市内在住かつ住民登録があり、認知症、知的障がい、精神障がいにより判断能力が十分でなく、身上保護と日常的な金銭管理が必要と認められた方。

<条件>

- ・ 首長が申立てする方で、他に適切な後見人等が得られない方。
- ・ 原則として、高額な財産を所有せず、他に適切な後見人等が得られない方。

日常生活自立支援事業（あんしんサポートねっと）

日常生活自立支援事業とは、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うものです。

◎ 福祉サービス利用援助

- ・ 福祉サービスのご利用にあたり、内容や利用の仕方、不明な点を解消するお手伝いします。訪問相談も対応しています。



○ 日常生活上の手続き援助

- ・ 市役所での手続きや申し込み、必要があれば郵便物を整理し、内容を説明するなど、日常生活に必要な事務手続きのご相談をお受けします。



○ 日常金銭管理

- ・ 福祉サービスの利用料や病院代、公共料金のお支払いや銀行や郵便局でのお金の出し入れなど日常生活で必要なお金の出し入れをお手伝いします。



○ 書類等預かりサービス

- ・ 大切な書類をお預かりします。

お預かりできるもの

- ・ 年金証書
- ・ 実印や銀行印
- ・ 預貯金の通帳
(合計1,000万円まで)
- ・ 不動産の権利または契約書
- ・ 契約書類
- ・ 保険証書



戸田市成年後見センター

(社会福祉法人戸田市社会福祉協議会)

〒335-0022

戸田市大字上戸田5番地の6

戸田市福祉保健センター内

電話 048-452-8207

FAX 048-442-3996

受付時間 午前8時30分～午後5時15分
(土・日・祝休日を除く)